別紙1

# 令和2年度 事務事業評価調書（事後評価用）

北広島市

| 計画事業番号 | 66 | 事務事業名 | シルバー子育てサポート事業 | 担当部署 | 子育て支援部<br>地域子育て支援センター | 電話 | 1102 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|

## 【基本情報】

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事務区分 | ■自治事務 □法定受託事務 | 根拠法令等 | - | | | | |
| 事務事業開始年度 | 2011年度 | 個別計画等 | 北広島市子ども･子育てプラン | | | | |
| 〃 終了予定年度 | | | | | | | |
| ソフト･ハード区分 | ソフト事業 | 会計区分 | 一般会計 | 補助単独区分 | 単独 | 新規継続区分 | 継続 |

## 【事業概要】

| | | |
|---|---|---|
| 1 総合計画体系 | | （第１章） 支えあい健やかに暮らせるまち |
| | | （第３節） 子育て支援の充実 |
| | | （施策１） 子育て環境の充実 |
| 2 対　象 | | おおむね60歳以上の市民 |
| 3 目的と内容 | | 核家族化や地域におけるつながりの希薄化などのより、家庭の育児力の低下が見られる中、子育て中の親子と豊かな知識や経験をもつシルバー子育てサポーターが交流し、子育ての相談や昔遊びの伝承などを通して、豊かな子育てを行うことができるように進めていく。また、サポーター自身の生きがいや健康増進を図っていくことを目指す。 |
| 4 実施内容（手　段） | 2019年度まで | ①手作りおもちゃの製作<br>②昔遊びの伝承<br>③次世代に残そうおばあちゃんの料理作り<br>④子育て講座の手伝い<br>⑤スキルアップ講習会<br>⑥みんなの広場の参加<br>⑦子育て支援ランドの参加 |
| | 2020年度 | ①手作りおもちゃの製作<br>②昔遊びの伝承<br>③次世代に残そうおばあちゃんの料理作り<br>④子育て講座の手伝い<br>⑤スキルアップ講習会<br>⑥みんなの広場の参加<br>⑦子育て支援ランドの参加<br>※新型コロナ感染拡大防止のため、①～⑥状況に応じ開催を検討中。⑦は中止。 |

## 【事業の計画･実績】

| 2019年度 | | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 |
|---|---|---|---|---|
| 計画 | 実績 | 計画 | 計画 | 計画 |
| 手作りおもちゃの製作･昔遊びの伝承<br>次世代に残そうおばあちゃんの料理作り<br>子育て講座等の手伝い<br>スキルアップ講習会<br>子育て支援ランド参加 | 手作りおもちゃの製作･昔遊び伝承　1回<br>次世代に残そうおばあちゃんの料理作り　3回<br>子育て講座等の手伝い　15回　128人<br>スキルアップ講習会　2回27人<br>子育て支援ランド参加　6人 | 手作りおもちゃの製作･昔遊びの伝承<br>次世代に残そうおばあちゃんの料理作り<br>子育て講座等の手伝い<br>スキルアップ講習会<br>子育て支援ランド参加 | | |

## 【評価結果･評価コメント】

| 総合判定 | | 次期総合計画に向けた具体的な方向性 | 評価区分 |
|---|---|---|---|
| 前年度2次評価 | 現状継続 | 現状継続とする | 「拡大」<br>「現状継続」<br>「要検討」<br>「見直し」<br>「統　合」<br>「休止・廃止」<br>「終　了」 |
| 1次評価 | 現状継続 | 子育て中の親子とシルバー子育てサポーターとの交流により、子育ての継承や地域で安心して子育てを行うことができることから継続実施とする。 | |
| 2次評価 | 現状継続 | 現状継続とする | |

## 【事業費の推移】

(単位:千円)

| | | | 2019年度 | | 2020年度 | | 2021年度 | | 2022年度 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額、当初予算額又は推進計画額 | | | 129 | | 94 | | | | | |
| 事業額 | 直接事業費 | 国支出金 | | | | | | | | |
| | | 道支出金 | | | | | | | | |
| | | 地方債 | | | | | | | | |
| | | その他特財 | | | | | | | | |
| | | 一般財源 | 129 | | 94 | | | | | |
| | | ① 合 計 | 129 | | 94 | | | | | |
| | 人 件 費 (左側:一般、右側:再任用) | ② 人 数(年間) | 0.00 | 0.40 | 0.00 | 0.40 | | | | |
| | | ③ 1人当り年間平均人件費 | 8,200 | 4,500 | 8,200 | 4,500 | | | | |
| | | ④ =②×③ | 0 | 1,800 | 0 | 1,800 | | | | |
| | 総事業費①+④ | | 1,929 | | 1,894 | | | | | |

## 【評価指標】

| | 指 標 名 | | 単位 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 活動指標 | ①シルバー子育てサポーター登録者数 | 目標値 | 人 | 20 | 20 | | |
| | | 実績値 | | 19 | | | |
| | ②活動延べ回数 | 目標値 | 回 | 55 | 55 | | |
| | | 実績値 | | 43 | | | |
| | ③活動延べ人数 | 目標値 | 人 | 300 | 300 | | |
| | | 実績値 | | 287 | | | |
| | ④ | 目標値 | | | | | |
| | | 実績値 | | | | | |
| 成果指標 | ① 1回あたりの活動人数 | 目標値 | 人 | 8 | 8 | | |
| | 活動延べ人数/活動回数 | 実績値 | | 7 | | | |
| | ② | 目標値 | | | | | |
| | 【指標の定義(算式等)】 | 実績値 | | | | | |
| | ③ | 目標値 | | | | | |
| | 【指標の定義(算式等)】 | 実績値 | | | | | |

## 【評価項目】

| | チェック項目 | 評点 | コメント |
|---|---|---|---|
| 妥当性 | ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか?<br>・上位の施策への貢献度は大きいですか?<br>・特定の団体の利益に偏っていませんか?<br>【評点欄】3妥当、2どちらかというと妥当、1妥当でない<br>【コメント欄】理由を記入 | 3 | シルバー子育てサポーターが子育ての経験を活かして、親に子育てについてアドバイスや、乳幼児の健やかな成長を支援する活動の場となっている。また、サポーター自身の生きがいや健康増進にも役立っている。 |
| 達成度 | ・計画どおりに成果があがっていますか?<br>【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない<br>【コメント欄】理由を記入 | 2 | 親子とシルバー子育てサポーターとの継続的な交流により信頼関係とともに、子育ての生活の知恵や昔遊びなどを伝えることができる。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大予防のため活動を休止中。状況を見ながら、活動の再開を予定している。 |
| 成果向上 | ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか?<br>【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい<br>【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入 | 2 | シルバー子育てサポーターとの信頼関係が深まり、今後も継続した交流と周知することにより活動の増加が期待できる。 |
| 経済性 | ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか?<br>【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい<br>【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入 | 3 | 地域の子育て支援には、今後もシルバー世代の援助や参加の必要があり、削減することは困難である。 |

| 【法律で実施が義務付けられている事務事業か】 | □ 法律の義務付けあり ■ 法律の義務付けなし |
|---|---|

| 【民間活力の活用性評価】(事業担当部局が評価) | ■ 民間等での実施または市民等との協働が可能である。<br>□ 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。 |
|---|---|

別紙1

# 令和2年度 事務事業評価調書（事後評価用）

北広島市

| 計画事業番号 | 54 | 事務事業名 | ファミリー・サポート・センター事業 | 担当部署 | 子育て支援部<br>地域子育て支援センター | 電話 | 1102 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|

## 【基本情報】

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事務区分 | ■自治事務　□法定受託事務 | | 根拠法令等 | 児童福祉法第6条の3第14項、子ども・子育て支援法第59条第12号<br>北広島市ファミリー・サポート・センター事業実施要綱 | | | |
| 事務事業開始年度 | 2007年 | | | | | | |
| 〃　終了予定年度 | | | 個別計画等 | 北広島市子ども・子育てプラン | | | |
| ソフト・ハード区分 | ソフト事業 | 会計区分 | 一般会計 | 補助単独区分 | 補助 | 新規継続区分 | 継続 |

## 【事業概要】

| | | |
|---|---|---|
| 1 総合計画体系 | | （第１章）　支えあい健やかに揺らせるまち |
| | | （第３節）　子育て支援の充実 |
| | | （施策１）　子育て環境の充実 |
| 2 対　象 | | 市内に居住又は勤務しており、生後0か月～小学6年生までの子どもがいる家庭で、子育て支援を必要とする人と、それを支援できる20歳以上の市民。 |
| 3 目的と内容 | | 保育園・幼稚園・学童クラブの迎えが間に合わない時など、働く親の短時間育児援助に対応するため、地域において育児の援助を受けたい人と育児の援助を行える人による会員登録制の相互援助組織（ファミリー・サポート・センター）を設置し、援助活動の調整を行う。また、協力会員の研修などを実施する。 |
| 4 実施内容（手　段） | 2019年度まで | ①協力会員講習会<br>②協力会員スキルアップ講習会<br>③合同交流会（ファミサポ祭り）<br>④協力会員交流会<br>⑤会員登録受付　月曜日～土曜日<br>⑥利用料の2分の1の助成（ひとり親など） |
| | 2020年度 | ①協力会員講習会<br>②協力会員スキルアップ講習会<br>③合同交流会（ファミサポ祭り）<br>④協力会員交流会<br>⑤会員登録受付　月曜日～土曜日<br>⑥利用料の2分の1の助成（ひとり親など）<br>※新型コロナ感染拡大防止のため、②、③、④は中止。 |

## 【事業の計画・実績】

| 2019年度 | | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 |
|---|---|---|---|---|
| 計画 | 実績 | 計画 | 計画 | 計画 |
| 協力会員講習会の開催<br>協力会員スキルアップ講習会の開催<br>合同交流会の開催<br>協力会員交流会 | 利用件数　2155件<br>会員登録数　1035人<br>協力会員講習会受講者　12人<br>協力会員スキルアップ講習会13人<br>合同交流会　211人<br>協力会員交流会　12人 | 協力会員講習会の開催<br>協力会員スキルアップ講習会の開催<br>合同交流会の開催<br>協力会員交流会 | | |

## 【評価結果・評価コメント】

| 総合判定 | | 次期総合計画に向けた具体的な方向性 | 評価区分 |
|---|---|---|---|
| 前年度2次評価 | 現状継続 | 現状継続とする | 「拡大」<br>「現状継続」<br>「要検討」<br>「見直し」<br>「統　合」<br>「休止・廃止」<br>「終　了」 |
| 1次評価 | 現状継続 | 子育て中の親子や共働きの家庭が安心して、子育てや仕事ができるように、子どもを預かる地域援助活動は今後も必要である。 | |
| 2次評価 | 現状継続 | 現状継続とする | |

## 【事業費の推移】

（単位：千円）

| | | | 2019年度 | | 2020年度 | | 2021年度 | | 2022年度 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額、当初予算額又は推進計画額 | | | 3,496 | | 3,746 | | | | | |
| 事業額 | 直接事業費 | 国支出金 | 1,165 | | 1,243 | | | | | |
| | | 道支出金 | 1,093 | | 1,243 | | | | | |
| | | 地方債 | | | | | | | | |
| | | その他特財 | | | | | | | | |
| | | 一般財源 | 1,238 | | 1,260 | | | | | |
| | | ① 合 計 | 3,496 | | 3,746 | | | | | |
| | 人件費（左側：一般、右側：再任用） | ② 人 数（年間） | 0.10 | 0.20 | 0.10 | 0.20 | | | | |
| | | ③ 1人当り年間平均人件費 | 8,200 | 4,500 | 8,200 | 4,500 | | | | |
| | | ④ ＝②×③ | 820 | 900 | 820 | 900 | | | | |
| | 総事業費①＋④ | | 5,216 | | 5,466 | | | | | |

## 【評価指標】

| | 指標名 | | 単位 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 活動指標 | ①サポート利用延べ数 | 目標値 | 件 | 1950 | 2200 | | |
| | | 実績値 | | 2155 | | | |
| | ②協力会員 | 目標値 | 人 | 85 | 85 | | |
| | | 実績値 | | 82 | | | |
| | ③利用会員 | 目標値 | 人 | 850 | 930 | | |
| | | 実績値 | | 918 | | | |
| | ④両方会員 | 目標値 | 人 | 36 | 36 | | |
| | | 実績値 | | 35 | | | |
| 成果指標 | ① 協力会員一人当たり活動件数 利用延べ件数/協力会員数 | 目標値 | 件 | 25 | 26 | | |
| | | 実績値 | | 26 | | | |
| | ② 協力会員充実度 協力会員＋両方会員/利用会員＋両方会員 | 目標値 | % | 20 | 20 | | |
| | | 実績値 | | 12 | | | |
| | ③ 【指標の定義（算式等）】 | 目標値 | | | | | |
| | | 実績値 | | | | | |

## 【評価項目】

| | チェック項目 | 評点 | コメント |
|---|---|---|---|
| 妥当性 | ・税金を使って行うこと（補助すること）が妥当ですか？<br>・上位の施策への貢献度は大きいですか？<br>・特定の団体の利益に偏っていませんか？<br>【評点欄】3妥当、2どちらかというと妥当、1妥当でない<br>【コメント欄】理由を記入 | 3 | 子育て支援として、保護者が安心して子育てと仕事を両立できる環境を整えるため、地域の資源を活用した本事業は必要である。 |
| 達成度 | ・計画どおりに成果があがっていますか？<br>【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない<br>【コメント欄】理由を記入 | 3 | 利用無料券（4時間分）やひとり親などの利用料の半額助成などにより、申請者が増加している。 |
| 成果向上 | ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？<br>【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい<br>【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入 | 2 | 子育て世代包括ケアシステムの連携により、母子手帳交付時から利用無料券（4時間分）やひとり親などの利用料の半額助成など周知することができ、今後も申請者が増加するものと考える。 |
| 経済性 | ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか？<br>【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい<br>【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入 | 3 | 保護者の子育ての不安感や負担感が増す中で、子育てを支援する事業として欠かすことができないため、削減は難しい。 |

| 【法律で実施が義務付けられている事務事業か】 | ■ 法律の義務付けあり　□ 法律の義務付けなし |
|---|---|

| 【民間活力の活用性評価】（事業担当部局が評価） | ■ 民間等での実施または市民等との協働が可能である。<br>□ 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。 |
|---|---|

別紙1

# 令和2年度 事務事業評価調書（事後評価用）

北広島市

| 計画事業番号 | 25 | 事務事業名 | 子ども･子育てサービス利用者支援事業 | 担当部署 | 子育て支援部地域子育て支援センター･子ども家庭課 | 電話 | 1102 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|

## 【基本情報】

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事務区分 | ■自治事務　□法定受託事務 | 根拠法令等 | 子ども･子育て支援法第59条第1号 | | | | |
| 事務事業開始年度 | 2015年 | 個別計画等 | 北広島市子ども･子育てプラン | | | | |
| 〃　終了予定年度 | | | | | | | |
| ソフト･ハード区分 | ソフト事業 | 会計区分 | 一般会計 | 補助単独区分 | 補助 | 新規継続区分 | 継続 |

## 【事業概要】

| | | |
|---|---|---|
| 1 総合計画体系 | （第１章） | 支えあい健やかに暮らせるまち |
| | （第３節） | 子育て支援の充実 |
| | （施策１） | 子育て環境の充実 |
| 2 対　象 | | 子どもと保護者等 |
| 3 目的と内容 | | 子育て中の保護者などに、教育･保育施設や地域の子育て支援事業等の情報提供するとともに、必要に応じて相談･助言を行う。子育てガイドブックの配布。 |
| 4 実施内容（手　段） | 2019年度まで | 子育て支援コーディネーターを1名配置。<br>①幼稚園･保育園の情報提供、相談<br>②子育て相談<br>③乳幼児健診訪問<br>④子育てガイドの配布<br>⑤子育て世代包括ケアシステムの連携（ケース検討会･子育て検討会･三課会議） |
| | 2020年度 | 子育て支援コーディネーターを1名配置。<br>①幼稚園･保育園の情報提供、相談<br>②子育て相談<br>③乳幼児健診訪問<br>④子育てガイドの配布<br>⑤子育て世代包括ケアシステムの連携（ケース検討会･子育て検討会･三課会議･講座） |

## 【事業の計画･実績】

| 2019年度 | | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 |
|---|---|---|---|---|
| 計画 | 実績 | 計画 | 計画 | 計画 |
| 子育て世代包括ケアシステム連携<br>子育て家庭への個別情報提供と相談助言、関係機関等の連絡調整、制度の周知、子育てガイドブックの配布、ケース検討会、子育て検討会、三課会議 | 幼稚園･保育園の情報提供、相談　83件<br>子育て相談　477件<br>乳幼児健診訪問　22回<br>ケース検討会　26回<br>子育て検討会　7回<br>三課会議　7回<br>母子手帳交付　182回<br>（土曜日　15回） | 子育て世代包括ケアシステム連携<br>子育て家庭への個別情報提供と相談助言、関係機関等の連絡調整、制度の周知、子育てガイドブックの配布、ケース検討会、子育て検討会、三課会議 | | |

## 【評価結果･評価コメント】

| 総合判定 | | 次期総合計画に向けた具体的な方向性 | 評価区分 |
|---|---|---|---|
| 前年度2次評価 | 現状継続 | 現状継続とする | 「拡大」<br>「現状継続」<br>「要検討」<br>「見直し」<br>「統　合」<br>「休止・廃止」<br>「終　了」 |
| 1次評価 | 現状継続 | 子育て中の不安を解消するための相談や、情報提供を欠くことができないことから現状継続とする。 | |
| 2次評価 | 現状継続 | 現状継続とする | |

## 【事業費の推移】

(単位:千円)

| | | | 2019年度 | | 2020年度 | | 2021年度 | | 2022年度 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額、当初予算額又は推進計画額 | | | 4,502 | | 2,607 | | | | | |
| 事業額 | 直接事業費 | 国支出金 | 1,500 | | 864 | | | | | |
| | | 道支出金 | 1,408 | | 864 | | | | | |
| | | 地方債 | | | | | | | | |
| | | その他特財 | | | | | | | | |
| | | 一般財源 | 1,594 | | 879 | | | | | |
| | | ① 合 計 | 4,502 | | 2,607 | | | | | |
| | 人件費 (左側:一般、右側:再任用) | ② 人 数(年間) | 0.40 | 0.00 | 0.40 | 0.00 | | | | |
| | | ③ 1人当り年間平均人件費 | 8,200 | 4,500 | 8,200 | 4,500 | | | | |
| | | ④ =②×③ | 3,280 | 0 | 3,280 | 0 | | | | |
| | 総事業費①+④ | | 7,782 | | 5,887 | | | | | |

## 【評価指標】

| | 指標名 | | 単位 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 活動指標 | ①子育て相談 | 目標値 | 件 | 300 | 300 | | |
| | | 実績値 | | 477 | | | |
| | ②活動件数 | 目標値 | 件 | 20 | 24 | | |
| | | 実績値 | | 22 | | | |
| | ③子育てガイド作成 | 目標値 | 部 | 3000 | 0 | | |
| | | 実績値 | | 3000 | | | |
| | ④ | 目標値 | | | | | |
| | | 実績値 | | | | | |
| 成果指標 | ① 情報提供・子育て相談件数 | 目標値 | 件 | 350 | 350 | | |
| | 年間件数 | 実績値 | | 560 | | | |
| | ② | 目標値 | | | | | |
| | 【指標の定義(算式等)】 | 実績値 | | | | | |
| | ③ | 目標値 | | | | | |
| | 【指標の定義(算式等)】 | 実績値 | | | | | |

## 【評価項目】

| | チェック項目 | 評点 | コメント |
|---|---|---|---|
| 妥当性 | ・税金を使って行うこと(補助すること)が妥当ですか?<br>・上位の施策への貢献度は大きいですか?<br>・特定の団体の利益に偏っていませんか?<br>【評点欄】3妥当、2どちらかというと妥当、1妥当でない<br>【コメント欄】理由を記入 | 3 | 核家族化や、地域とのつながりの希薄化などによる子育ての孤立化とともに、子育ての不安感や負担感が増している。子育てについて気軽に相談できる場やコーディネーターが必要である。 |
| 達成度 | ・計画どおりに成果があがっていますか?<br>【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない<br>【コメント欄】理由を記入 | 3 | 子育て支援センターにコーディネーターを配置したことにより、相談しやすい環境となっている。 |
| 成果向上 | ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか?<br>【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい<br>【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入 | 2 | 子育て世代包括ケアシステムにより、妊婦の時から相談や情報提供ができることで、利用の増加につながっている。 |
| 経済性 | ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか?<br>【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい<br>【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入 | 3 | 事業費のほとんどが人件費及び周知啓発のための経費で、削減の余地はない。 |

| 【法律で実施が義務付けられている事務事業か】 | ■ 法律の義務付けあり　□ 法律の義務付けなし |
|---|---|

| 【民間活力の活用性評価】(事業担当部局が評価) | □ 民間等での実施または市民等との協働が可能である。<br>■ 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。 |
|---|---|

別紙1

# 令和2年度 事務事業評価調書（事後評価用）

北広島市

| 計画事業番号 | 62 | 事務事業名 | 地域子育て支援センター運営事業 | 担当部署 | 子育て支援部<br>地域子育て支援センター | 電話 | 1102 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|

## 【基本情報】

| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 事務区分 | ■自治事務　□法定受託事務 | | 根拠法令等 | 児童福祉法第6条の3第6項、子ども子育て支援法第59条第9号、北広島市地域子育て支援センター条例 | | | |
| 事務事業開始年度 | 2010年度 | | 個別計画等 | 北広島市子ども・子育て支援プラン | | | |
| 〃 終了予定年度 | | | | | | | |
| ソフト・ハード区分 | ソフト事業 | 会計区分 | 一般会計 | 補助単独区分 | 補助 | 新規継続区分 | 継続 |

## 【事業概要】

| | | |
|---|---|---|
| 1 総合計画体系 | | （第１章）　支えあい健やかに暮らせるまち |
| | | （第３節）　子育て支援の充実 |
| | | （施策１）　子育て環境の充実 |
| 2 対　象 | | 妊娠から就学前までの乳幼児と保護者 |
| 3 目的と内容 | | 地域の家庭の孤立化を防ぎ、子育てに関する不安感や負担感の軽減を図るため、子育て中の保護者を支援し、親子の触れ合いの場と親同士の子育ての情報交換の場を提供し、地域子育て支援センター事業を運営する。子育て中の保護者同士の出会いとつながりを大切にし、地域の子育て仲間と楽しく子育てに取り組めるように支援する。 |
| 4 実施内容（手　段） | 2019年度まで | ①みんなの広場（活動室開放、親子遊びの紹介、親同士子育ての情報交換）月曜日～土曜日<br>②子育て講座<br>③出前みんなの広場（北広島団地地域交流ホーム「ふれて」、北広島団地地域サポートセンター「ともに」）<br>④子育て支援ランド（大曲いちい保育園、西の里きらきら保育園、あいあい3か所の子育て支援センターの合同事業）<br>⑤子育てサークルへの支援<br>⑥子育て世代包括ケアシステムの連携 |
| | 2020年度 | ①みんなの広場（活動室開放、親子遊びの紹介、親同士子育ての情報交換）月曜日～土曜日<br>②子育て講座<br>③出前みんなの広場（北広島団地地域交流ホーム「ふれて」、北広島団地地域サポートセンター「ともに」）<br>④子育て支援ランド（大曲いちい保育園、西の里きらきら保育園、あいあい3か所の子育て支援センターの合同事業）<br>⑤子育てサークルへの支援<br>⑥子育て世代包括ケアシステムの連携<br>※新型コロナ感染拡大防止のため、①は制限を設け実施。②は内容変更。③は施設閉館のため休止中。④は中止。 |

## 【事業の計画・実績】

| 2019年度 | | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 |
|---|---|---|---|---|
| 計画 | 実績 | 計画 | 計画 | 計画 |
| みんなの広場<br>子育て講座<br>子育て相談<br>出前みんなの広場<br>子育て支援ランド<br>子育てサークルへの支援 | みんなの広場　22,599人<br>子育て講座　669人<br>出前みんなの広場　80人<br>子育て支援ランド　147人<br>子育てサークル支援　0件 | みんなの広場<br>子育て講座<br>出前みんなの広場<br>子育て支援ランド<br>子育てサークルへの支援 | | |

## 【評価結果・評価コメント】

| 総合判定 | | 次期総合計画に向けた具体的な方向性 | 評価区分 |
|---|---|---|---|
| 前年度2次評価 | 現状継続 | 現状継続とする | 「拡大」<br>「現状継続」<br>「要検討」<br>「見直し」<br>「統　合」<br>「休止・廃止」<br>「終　了」 |
| 1次評価 | 現状継続 | 子育て中の親子が気軽の集い、相互交流や子育ての不安、悩みを相談できる場を提供することが必要なため、継続実施とする。 | |
| 2次評価 | 現状継続 | 現状継続とする | |

## 【事業費の推移】

（単位：千円）

| | | | 2019年度 | | 2020年度 | | 2021年度 | | 2022年度 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 決算額、当初予算額又は推進計画額 | | | 15,138 | | 13,706 | | | | | |
| 事業額 | 直接事業費 | 国支出金 | 2,901 | | 4,540 | | | | | |
| | | 道支出金 | 2,901 | | 4,540 | | | | | |
| | | 地方債 | | | | | | | | |
| | | その他特財 | 112 | | 5 | | | | | |
| | | 一般財源 | 9,224 | | 4,621 | | | | | |
| | | ① 合 計 | 15,138 | | 13,706 | | | | | |
| | 人件費（左側：一般、右側：再任用） | ② 人 数（年間） | 0.50 | 0.20 | 0.50 | 0.20 | | | | |
| | | ③ 1人当り年間平均人件費 | 8,200 | 4,500 | 8,200 | 4,500 | | | | |
| | | ④ ＝②×③ | 4,100 | 900 | 4,100 | 900 | | | | |
| | 総事業費①＋④ | | 20,138 | | 18,706 | | | | | |

## 【評価指標】

| | 指標名 | | 単位 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 | 2022年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 活動指標 | ①みんなの広場 | 目標値 | 人 | 20000 | 23000 | | |
| | | 実績値 | | 22599 | | | |
| | ②子育て講座 | 目標値 | 人 | 650 | 650 | | |
| | | 実績値 | | 669 | | | |
| | ③出前みんなの広場 | 目標値 | 人 | 180 | 180 | | |
| | | 実績値 | | 80 | | | |
| | ④ | 目標値 | | | | | |
| | | 実績値 | | | | | |
| 成果指標 | ① 1日あたりの利用者数 | 目標値 | 人 | 80 | 80 | | |
| | 延べ人数/開館日数 | 実績値 | | 86 | | | |
| | ② | 目標値 | | | | | |
| | 【指標の定義（算式等）】 | 実績値 | | | | | |
| | ③ | 目標値 | | | | | |
| | 【指標の定義（算式等）】 | 実績値 | | | | | |

## 【評価項目】

| | チェック項目 | 評点 | コメント |
|---|---|---|---|
| 妥当性 | ・税金を使って行うこと（補助すること）が妥当ですか？<br>・上位の施策への貢献度は大きいですか？<br>・特定の団体の利益に偏っていませんか？<br>【評点欄】3妥当、2どちらかというと妥当、1妥当でない<br>【コメント欄】理由を記入 | 3 | 子育て中の親子が気軽の集う場であり、子育て中の保護者の支援等を行う事業である。育児の孤立化を防ぎ、子育てへの不安感の軽減を図るために必要である。 |
| 達成度 | ・計画どおりに成果があがっていますか？<br>【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない<br>【コメント欄】理由を記入 | 2 | 新型コロナウイルス感染拡大予防のため、みんなの広場への利用時間や人数等を制限したり、講座の内容を変更したりでの実施となる。新しい生活スタイルを取り込みながら、子育ての不安感や負担感の軽減に努めている。 |
| 成果向上 | ・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？<br>【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい<br>【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入 | 2 | 子育て世代包括ケアシステムの連携により、子どもの発達や取り巻く環境について心配な子どもの早期発見につながっている。 |
| 経済性 | ・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか？<br>【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい<br>【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入 | 3 | 週6日の実施により、気軽に集える場として提供するため、事業の質の低下につながるコストの削減は難しい。 |

| 【法律で実施が義務付けられている事務事業か】 | ■ 法律の義務付けあり　□ 法律の義務付けなし |
|---|---|

| 【民間活力の活用性評価】（事業担当部局が評価） | □ 民間等での実施または市民等との協働が可能である。<br>■ 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。 |
|---|---|